

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：平成29年12月22日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：大熊長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから原子力規制庁の定例ブリーフィングを始めます。

○大熊総務課長 それでは、お手元の広報日程に基づきまして補足説明を申し上げます。

まず、1ページ目、2.、12月22日、本日でございますが、(1)の審査会合についてでございます。こちらは現在開催中の審査会合でございます。

議題は大きく2点ございまして、まず、1件目の議題といたしまして、電源開発株式会社・大間原子力発電所につきまして、敷地の地質構造について、コメントへの回答を聴取するということでございます。こちらの議題については、既に議論を了していると承知しています。

2件目の議題といたしまして、日本原電・敦賀原子力発電所につきまして、敷地の地質構造につき説明をお聞きし、議論を行うという予定となっております。

続きまして、広報日程の2ページ目、12月26日火曜日、(6)の会合でございます。特定原子力施設監視・評価検討会、いわゆる1F検討会の第57回の会合の開催が予定されております。議題は7件予定されております。

議題の1及び議題の2といたしまして、建屋滞留水の処理及び地下水流入対策につきまして、現在の状況をお聞きするという予定でございます。

続きまして、議題の3といたしまして、燃料デブリに関しまして、デブリの状況の調査の状況、更に今後の取り出しに向けた方針などにつき、説明をお聞きするという予定でございます。

続きまして、議題の4といたしまして、中長期リスクの低減目標マップにつきまして、今後の改訂の方向性について議論を行うということを予定しております。

その後、議題の5及び議題の6におきまして、トラブルへの対応の状況について説明を聞くという予定でございます。議題の5におきまして、サブドレンの水位低下の事象についての前回の指摘への回答を聴取すると。その上で、議題の6におきまして、2号機の格納容器ガス管理設備におけますLC0逸脱の事案、11月の下旬にあった事案でございますが、これにつきまして報告を聞くということを予定しております。

議題の7では、1号機の原子炉建屋のがれきに関しまして、そのがれき撤去の方法、今後の方針について説明を聞くという予定でございます。

続きまして、同日、(7)の審査会合でございます。こちらの議題といたしましては、東北電力・女川第二原子力発電所についての審査を予定しておりまして、内容としては、使用済燃料プールの事故対策及び3.11地震等を踏まえた耐震設計につきまして、説明を聞くということを予定してございます。

私からの御説明は以上です。

<質疑応答>

○司会 それでは、皆様からの質問をお受けいたします。いつものとおり、所属とお名前をおっしゃってから質問の方をお願いいたします。

質問のある方は手を挙げてください。御質問のある方はいらっしゃいますでしょうか。よろしいでしょうか。シゲタさん、どうぞ。

○記者 NHK、シゲタです。

来週火曜日の審査会合についてお伺いします。女川2号機の3.11耐震設計についてなのですが、これは壁の話を中心にされるという理解でよろしいのでしょうか。

○大熊総務課長 御指摘のあった壁ですね、3.11地震で、若干といいますか、影響を受けている壁を含め、今後の耐震設計の方針について説明を聞くという予定でございます。

○記者 あと、基本的に28日はもう審査会合もないという理解でよろしいでしょうか。

○大熊総務課長 この後の審査会合は予定をされておられません。

○司会 ほか、いらっしゃいますでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。お疲れさまでした。

—了—